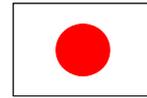


三次市日中友好協会 会報

Ni

Hao

你好



第62号 2013年 4月 1日発行

三次市日中友好協会  
〒728-0004 三次市穴笠町76-2  
小山知秀宅気付  
発行責任者 大谷 清

## 2013年春節祝賀「日中友好交流三次市民の夕べ」

2013年2月10日 三次ロイヤルホテル

## 中国大使館と雅安市雨城区からメッセージ

2012年は、日中国交正常化40周年、三次市雅安市雨城区友好提携20周年の記念すべき年でした。

しかし、尖閣問題を契機に自体は一変。日中国交正常化40周年のなかで最悪の政治的環境になりました。

三次市日中友好協会は、三次市と連携し雅安市雨城区とも協議し、友好提携20周年の記念式典出席を5月に三次市、10月に雅安市雨城区で開催し、相互の訪問団が関係行事に参加し交流を深めることになっていました。

三次市日中友好協会は、「今こそ民間交流の出番」と、友好のメッセージを中国の友人達に送り続け、日本国内での日中交流の事業推進に努力してきました。

2013年春節には、恒例の「日中友好交流三次市民の夕べ」を企画し、市内の中国籍の友人や、技術研修生として頑張っている皆さんを招待し、楽しくも友誼に満ちた交流会を実施しました。

三次市での日中友好の雰囲気、実家の中国の家族に伝えてほしいと思います。

何よりも、東京の中国大使館友好交流部の汪婉参事官（中国大使夫人）から友好のメッセージをいただきました。友好都市四川省雅安市雨城区からも友好のメッセージをいただきました。

特に、中国大使館からのメッセージは、有意義な内容で、三次市日中友好協会の民間交流の重要性を同じく指摘しています。

中華人民共和国日本国大使館  
三次市日中友好協会春節交流会へのメッセージ

2013年新春に際し、中国大使館友好交流部を代表して三次市日中友好協会の皆さまに、また三次市民の皆さまに心から祝福を申し上げます。

去年は中国と日本国交正常化40周年であり、中日の各界は積極的に様々な記念行事を計画しました。しかし、9月に日本政府が「島購入」を強行し、両国の各分野の交流と協力がほぼ全面的に停滞し、両国関係が国交正常化以来もっとも深刻な局面に陥りました。

三次市日中友好協会は成立して以来、民間レベルにおいて多彩な交流事業に取り組み、両国国民の相互理解と友好感情を深めることに大きな役割を果たしてきました。今年は中日平和友好条約締結35周年に当たります。目下の不正常的な状態にある中日関係を改善するため、貴協会を含めた日本各界の友人とともに手を携えて、一般市民と草の根レベルの交流を強め、友好団体の交流基盤を固め、より多くの交流の場を築くことによって、両国関係を両国国民の利益に合致する道程に戻すよう心より願っています。最後に三次市日中友好協会のますますのご発展と皆さまのご多幸をお祈りいたします。

中華人民共和国駐日本国大使館  
友好交流部 参事官 汪 婉

2013年2月10日

## 新 春 祝 福

三次市日中友好協会各位朋友： 新年好！

值此新春佳节来临之际，雅安市雨城区人民对外友好协会对三次市长期以来致力于两地友好事业发展的各界人士致以衷心的感谢和美好的祝愿！金蛇迎新春，万象更新。在这辞旧迎新、吉祥喜庆的时刻，祝福各位朋友在新的一年里身体健康、工作顺利、阖家幸福！

雅安市雨城区人民对外友好协会

2013年2月10日

## 新春の祝福

三次市日中友好協会の皆さま、新年明けましておめでとうございます。

新春を迎え、雅安市雨城区人民对外友好協会は、三次市に対して長い間の両地域の友好的な事業の発展させてきた各界の人士に心からの感謝と心からの祝意を申し上げます！金蛇迎新春、万象新たになります。これで旧年に別れを告げ新年を迎えて、吉祥のお祝いの時です。皆さんの新しい一年が健康で、幸福が順調なことを祝福します！

雅安市雨城区人民对外友好協会

2013年2月10日

## 2013年春節祝賀 日中友好交流三次市民の夕べ



# 特別投稿 「帰国して25年」

広島市在住 住野 武 株式会社 日航コンサルタント広島支社

NHKドラマ「大地の子」をご覧になった方は思い出されるシーンがあると思います。

正に、ドラマのとおり中国残留孤児の劇的な人生のなかで、日本に帰国し孤児の2世をはじめ家族の苦労は、長いドラマがあり、三次市でも帰国した住野さん一家のお話があります。三次市日中友好協会は、帰国された日から一生懸命生きてこられた住野さんに一日も早い安寧の日が来ることを信じて多方面での協力をしてきました。

三次市日中友好協会中国語講座に毎週木曜日、住野さん一家は全員で参加し、少しの時間でも「日本語」を覚える努力をされていました。

生活相談員として三次市日中友好協会理事の菅原一栄さん（故人）は、自分の家族のように、やさしく接しておられました。



大手測量会社の課長です。住野 武

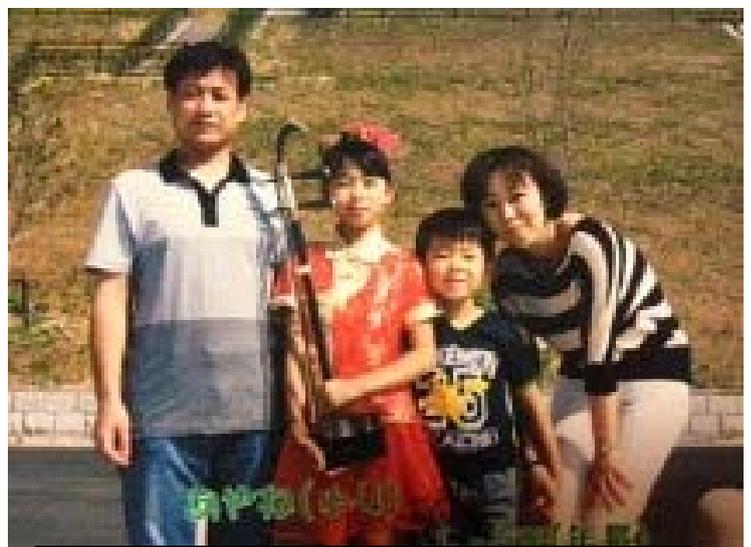
## 帰国して25年！

思えば、「遠い歴史」のようで、終戦前、開拓団の一員として、祖母が幼い叔母と父を連れ、満州国（現在の中国の東北地方）に行かされました。当時、両国の関係が最悪の状況で、祖母がわが子を守るために、生き延びるために、たくましくどん底状態と戦い続けました。幸い優しい中国人に引き取られ、言葉の壁と生活習慣の違いを抱えながら、差別や貧困との悪戦苦闘の日々でした。また、中国人養父に育てられた父と叔母がその苦難の人生に耐えながら、何時か祖国に帰れる夢を見ていました。

二十五年前、祖母や父の願いがようやく叶い、母国である日本に帰れることができました。三次市に居る親族の協力もあって、受け入れられたのは父の出身地に近い三次市でした。当時の三次市長（故福岡義登様）をはじめ、市役所の関係者及び日中友好協会の方々に盛大な歓迎セレモニーまでして頂き、一家心から暖かく感じたことを記憶にまだ新しいです。

当時の自分を振り返れば、日本で新たな人生をスタートにあたって、両親から大きな期待もあり、今までと違う言葉を使い、違う文化に触れながら、生きていくことを考えると不安な気持ちで一杯でした。難解な日本語という大きな壁にぶつかり、自分に自信をなくしてしまい、「果たして日本に来たことが正しい選択だったのか」と自分自身に問いかけることもありました。何度もくじけそうになり、悩みを抱えながら生きる日々でした。

その頃、政府は私たちを一日も早く自立できるよう動いて下さいました、三次市日中友好協会の方々、市役所職員の方々、近所の方々から家電や生活用品と衣類などをたくさん下さいました。家族の不安な気持ちを和らげ、やっと正常な生活に入れることができました。また、三次市日中友好協会から暖かい手を伸ばして頂き、主催の日本語教室に通わせていただくことになり、そのお蔭で、人と接する勇気を与えられ、日本語も少しずつしゃ



今、幸せな住野武一家 二胡を習っています。

べれるようになり、その時は私の第二人生を変えられた瞬間と言っても過言ではない。また、生活指導員の菅原一栄さんがよくサポートをして下さいました、菅原さんは日本の生活習慣や社会常識などを細かく教わって頂き、大変助かりました。そして、私自身もアルバイトを始め、僅かですが、収入が入り、人生初の自立生活の始まりでもありました。こうして、三次市での生活が一年弱過ぎることができました。折しも、自分の将来を真剣に考えることになり、両親と話し合った結果、一家を日本で自立させるため、自分自身の将来のため、もっと知識を学ばなければならないと自覚し、大学を受験することを決意した、受験のため、広島市に移し、受験勉強に奮闘した結果、幸運に広島修道大学に合格し、商学部商学科に入学することができました。それから、学校に通いながらアルバイトをする毎日です、言葉のハンディもあって、壁にぶつかる事も多かった。その後、卒業ができ、今勤めている会社に就職しました。その時の私にとって、「ようやく人生の新しいスタートラインに立つことができたな」と実感しました。それから、ひたむきに働き続け、家族の協力や友人に助けられることもあって、苦難の壁を乗り越え、一步一步前に進むことができ、今年で入社20年目となります。

私は日本に来てからの二十数年間で、一番感じたのは人の親切さと友人の大切さです、困ったときに助けの手を伸ばしてくれるし、ストレスが溜まるときや悩みがあるときに相談とかもできるし、よくも悪くも、自分に見えない自分を知ることができました。そして、この人たち



懐かしい住野一家（帰国間もないころ）  
祖母(中央)・父母(右二人)・妹(左から2人目)

の助けがあって今の自分があります、この人たちのお蔭で楽しい人生を送ることができました、これからも大切にしていきたいと思えます。

現在、元気一杯の子供二人に恵まれ、幸せな暮らしをしております、父は今年で古希を迎え、健康に気を付けながら、楽しい晩年を送っています。父は「吃水不忘挖井人（水を飲むとき、井戸を掘った人のことを忘れてはならない）」とよく口にします、祖母生前も「三次市の方々からの助けがあったからこそ、私たちは今の生活があったよ」とよく言っていました。波瀾万丈な人生を歩んできた祖母に誇りを感じています。そして、想像以上大変苦勞して育ててくれた両親にできるかぎり、親孝行を尽くしていきたいと思っています。

最後に、この場を借りて、私たちを優しく受け入れて下さいました三次市の皆様に一言を申し上げたいと思います、大谷清会長をはじめ、三次市日中友好協会の方々、三次市役所職員の方々、助けて頂いた方々、お世話になった近所の方々に心より感謝の意を申し上げます、本当に有難うございました、私たちは一生忘れることはありません。そして、皆様方への恩返しとして、幸せな家庭をしっかりと守りながら、日中友好の架け橋となって、日中両国のため力を注ぎたいと思っています。



広島県華僑華人総会の活動もしています。

末筆ではございますが、三次市日中友好協会の皆様のご健勝とご発展を祈念して私の手記を終らせて頂きます。

# 2013年第25回 三次市日中友好協会定期総会

**日時** 2013年 5月 9日(木)  
**18:00~定期総会**  
**19:10~交流会**

**会場** 三次グランドホテル

三次市日中友好協会の2013年度第25回定期総会を開催します。  
日中両国の政治環境は決して順調ではありませんが、今こそ民間交流の重要性が高まっています。  
中国の本当の姿や思いを伝えることこそ、今の民間交流団体「三次市日中友好協会」の使命と考えています。  
今年は、中国大使館との直接交流も行う予定です。  
こうした時こそ三次市民の寛容で毅然とした国際交流の姿勢を確かなものになりたいと考えています。  
三次市日中友好協会会員の皆さまのご理解をお願いします。  
会員の皆さまについては、同封の回答ハガキ(切手不要)・電子メールで2013年4月30日(火)必着にてご投函ください。(できるだけ電子メールでの出欠回答をお願いします。)

出欠回答 メールアドレス 三次市日中友好協会 事務局(小山) [apple\\_yogurt@hotmail.co.jp](mailto:apple_yogurt@hotmail.co.jp)

**年会費** 個人 2,000円

法人又は団体 10,000円

**郵便振替、又は、金融機関振り込みをお願いします。**

**郵便振替：同封の青色用紙でお願いします。**

**手数料120円のご負担をお願いします。**

**金融機関振込：JA三次各窓口からは、下記口座への会費振り込みは、手数料無料ですのでご利用ください。**

**三次農業協同組合市役所支店**

**普通預金 0614913**

**講座名義 三次市日中友好協会**

2013年度第24期

楽しい

## 中国語講座



4月～9月講座生募集中  
初めての方 大歓迎! 入門クラス

**講座** : 毎週 金曜日

(2013年4月12日開講)

18時30分～20時30分

**会場** : 三次市生涯学習センター

**会費** : 毎月3,000円

**クラス** (定員) と **講師** :

★ 入門クラス (20名)

講師 : 龔翠萍

**申込方法** : 電話・メール等で

①氏名 ②年齢 ③住所

④電話番号 (携帯可) ⑤中国語の勉強経験

下記の窓口にお申込みください。

**申し込み先** メール jr4bhl729-62@p1.pionet.ne.jp

三次市日中友好協会0824(66)1820 (村武)

あなたは、地球上の5人にひとりが中国語を話していることを知っていますか？

24年の歴史のある中国語講座が、2013年度前期講座生(2013年4月12日開講)を大募集しています。

21世紀の外国語「中国語」を話してみましよう。広く仲間を募集します。毎年、中国語会話・中国修学旅行も企画しており、楽しく勉強します。

初めて中国語に出会う方、大歓迎です。漢字の言葉「中国語」は、きっと興味をもっていただけます。6ヶ月コースで、前期・後期にわけて開講します。もちろん継続して受講していただけます。

講師は、三次市在住の中国人の方ですから、中国の生活事情も身近に接することができます。

中学生以上の方でしたら、どなたでも受講できます。先着順ですから、申込みは、お早めに。

三次市日中友好協会